自動車整備の最新がわかる
ANZEN NEWS
2007 10 VOL.37
CHARGE

オパシメーターの導入が開始されました

近年の排出ガス規制に伴うディーゼル車の排出ガス低減技術の高度化の結果、最近のディーゼル車はほとんど黒煙が排出されなくなっています。今後の粒子状物質（以下PM）検査においては、従来の黒煙測定器では測ることのできない未燃焼成分（SOF成分）を測定することが重要になってきました。このため黒煙測定器による検査から「オパシメーター」を使用したPM検査を新たに導入することになりました。

排出ガスの構成要素とオパシメーター導入の必要性

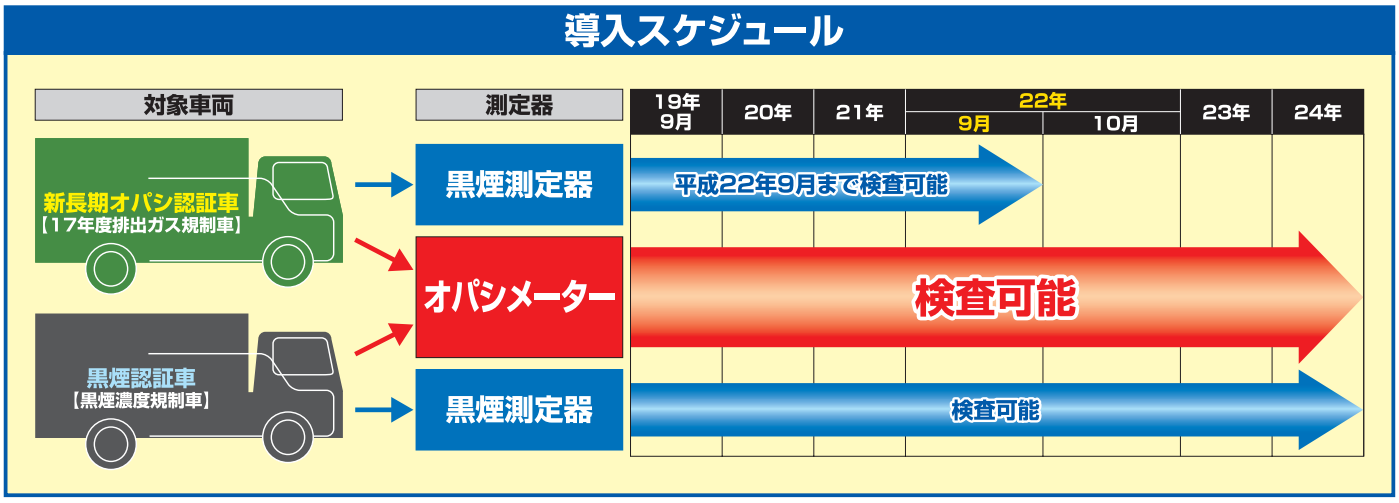
ディーゼル車の排出ガスの99.8%以上はガス成分で、残りの0.2%以下が人体に影響を及ぼすPMです。PMは約60%がススス（カーボン）で、その周囲には燃料とオイルの凝固成分（炭化水素）、硫黄分（二酸化硫黄）、凝固水、その他、金属粉の溶解成分が付着しています。従来の黒煙測定器では、PMの中心にあるススだけしか測定できず、測定が重要とされているその他の可視成分は測定できませんでした。しかし今後も排出ガス規制のさらなる強化が図られた場合、現在の黒煙測定器では対応が困難になることが懸念されたため、ススだけでなく周囲の未燃焼成分も測定できるオパシメーターへの切り替えが必要とされたのです。

今後の対応方法

従来の黒煙認証車は今後も黒煙測定器での検査が可能です。またオパシメーターによる検査も可能です。その際は汚染度（%）からオパシメーターで使用する光吸収係数（m^{-1}）に置き換えた検査が可能です。

一方、17年度排出ガス規制車のうち新長期オパシ認証車に関してはオパシメーターによる測定が可能です。経過措置として22年9月までの間、従来の黒煙測定器により合否判定することを認めるとしています。

導入スケジュール



株式会社M.Fノースジャパン スーパーオートバンク青森店

いま注目! のショップ訪問

青森県青森市大字新城字平岡398
TEL 017-761-5589

株式会社M.Fノースジャパンの年商は36億円（2005年11月～2006年10月）で総社員は76名。スーパーオートバンク青森店のスタッフは総勢15名（メカニック2名）ですが、将来的には20名程度（メカニックはプラス4名）に増員する予定です。同店は今年6月に移転、新築オープン、常時200台のクルマが東北最大級の屋内展示場に展示されています。屋内展示場にした理由は、どんな天候にもかかわらず、お客さまにベストな状態のクルマを選んでいただきたいという気持ちの表れです。

青森店
店長
中嶋文雄さん

青森店
工場長
和田義祐さん

静岡日野自動車株式会社 沼津営業所

いま注目! のショップ訪問

静岡県沼津市双葉町9-11-1
TEL 055-922-5020

静岡日野自動車株式会社の総社員は280名。昨年度（2006年4月～2007年3月）の総売上は160億円、内サービス売上は31億円でした。また、新車販売台数については1500台、整備の総入庫台数は33,000台でした。今年5月に移設、新築オープンした沼津営業所は国道1号線をはじめ多くの幹線道路に囲まれており、恵まれた立地条件の営業所に、総勢24名（メカニック15名）のスタッフが働いています。旧営業所は狭かったこともあり、整備需要に対応しきれないこともありました。しかし今回の移設で整備工場のストール数を大幅に増やし、作業効率を重視した設備機械を設置したことで、より多くのお客様の多様な要望に応えやすい店舗となりました。

取締役
サービス本部長
佐藤 篤さん

沼津営業所
整備課課長
高橋 誠さん

多軸フリーローラーのビルトインが4WD整備に威力を発揮

■幅広い取扱い事業を生かした顧客拡大

M.Fノースジャパンは、自動車（新車・中古車）販売、買取、整備事業、軽板金、陸送事業など、さまざまな自動車関連ビジネスを扱っています。お客様にそのメリットを最大限に活用していただくための入り口に「mu.fu.fun（ムフフン）」カードがあります。

クルマの購入から車検・法定点検・板金・用品の装着など、同社グループのサービスはすべてポイントの対象となります。獲得したポイントは、次回以降のサービスを利用するときに使えます。また、このポイントを、提携他社の商品券や金券と交換することも可能です。クルマを購入するとかなりのポイントがつくので、購入後に同社グループで法定点検、車検、タイヤの履き替えなどをされるお客様にはお得なシステムであり、会社にとっては、お客様をグループ内で回流させることで売上げ増とお客さまの定着が期待できます。

■お客様の満足度を高めるため、最新鋭の整備機器により上質なサービスを提供

スーパーオートバンク青森店が指定工場の敷設や門型洗車機を導入した理由を店長の中嶋さんに訊ねました。「どのようにお客様の信頼感を高めるか、どのように満足いただくかを検証した結果、『いいモノ・いいサービスを提供していく』ということがコンセプトとなりました。整備工場の敷設もその一環です。最新鋭の設備機器を備え、安心して整備が任せられるサービスピット、というイメージは、お客様の信頼を得るために大切だと考えました」。同店はボッシュのエンジン診断機を搭載したビーグルシステムアナライザーなども導入し、ボッシュ・カーサービス店としても認定されています。「販売する前に不具合を発見、修理し、お客様が購入されてからの不具合をなるべく減らすことが重要です。販売だけでなく、「技術」のサービスファクトリーであることも浸透させていきます」。同店における販売目標は年間800台、5年後の目標は1000台です。もちろん、入庫促進によるサービス売上げの増大も目指します。新築オープンに合わせてチラシを配布したところ、3日間で車検の依頼が68件あったということで、今後はフリーのお客様のメンテナンス・車検誘引にも注力していくとのことです。

カフェテリアのように明るくきれいな受付カウンター

■北国での整備効率を上げる多軸フリーローラーとタイヤチェンジャー

検査ラインにはANZENのハイブリッドテスターに多軸フリーローラーを組み合わせたシステムが設置されました。また、作業効率に大きく寄与するラインマスターも融合させています。ヘッドライトテスターは画像処理方式の全自動式タイプをビルトイン。工場長の和田さんは「ヘッドライトテスターは画像処理方式でカットラインなどが瞬時に表示されるので時間短縮につながっています。以前勤務していた工場では4WD車が入庫すると簡易式のフリーローラーを設置し、それから測定していましたが、今回はビルトインされているので設置や調整の手間がなく、15～20分程度の時間短縮となります」と、おっしゃっていました。加えて「メインテックの導入によって自動的に測定結果が印字・プリントアウトされるのはいいですよ。以前は自分で計算しながら記録簿に記入していましたからね」と、お褒めの言葉をいただきました。他に同店が導入したのは作業姿勢がラクなバトラータイヤチェンジャーのエアコンビ、バランサーのリブラックです。「タイヤチェンジャー、バランサーとも、その良さが分かってきましたが、本当にその良さが実感できるのは、繁盛期の冬タイヤへの履き替え時期だと思います」（和田さん）。中嶋さんは「中古車販売店といっても様々な店舗がありますが、当店はクルマのレベルの高さと、車検ラインの敷設によるアフターサービスの充実を訴求することで、他店との差別化を目指します。もちろん、当店でクルマを購入していないフリーのお客様の誘引にも今後、力を注いでいきます」と力強く語ってくれました。

コンピューター車検システムの導入で記録簿印字など面倒な作業をクリア!

2種類のビードブレーカーでオールラウンドに対応するエアコンビ

4軸のエアサス車も難なく対応のツインパワーリフト

■個々のお客様にマッチした提案による入庫促進

同社では、新車を販売する営業が入庫促進を行い、他に整備課1名が巡回サービスとしてお客様を訪問します。「基本的には営業がお客様に販売したクルマのすべてを管理しています。もちろんフロントチームや整備課も営業をバックアップしていきます。以前は入庫促進のためにキャンペーンなど様々な仕掛けも展開してきました。しかし同一の仕掛けが全てのお客様に喜ばれるとは限らないため、現在はお客様の要望に、よりマッチするようにそれぞれのお客様にフィットしたサービスを個別にご提案しています」（佐藤さん）。整備課課長の高橋さんは「当店でお買い上げ頂いたお客様に対して、年間を通して入庫していただけるためのプログラムを提案し、不調時故障時だけでなく、定期的に必ず当店に入庫していただけるようにするのが理想だと考えています。これによって、長いスパンでお客様のクルマの状態を把握できますし、アクシデントによる路上故障も未然に防ぐことができます」と語り、一時目を引くだけの奇策よりも、地道な営業活動が重要だとしています。

■4柱リフトの導入で4軸エアサス車の増加に対応

沼津営業所のサービスピットは8ストール+検査ライン+洗車場です。そのうち2ストールは沼津工場の大きな特徴でもある、通り抜けができるストールです。このストールは前後で2台の整備ができるので、同時に整備をしていても前後どちらからも出入りができます。また、そのうち1台は4柱タイプのリフトで、1つのリフトで2台の整備ができるほか様々な利点があります。「4柱リフトを設置しようと考えたのは、4軸のエアサス車が増えてきているからです。エアサス用のベローズ（空気が注入されている袋状のゴム部品）は伸縮性があります。このベローズがリフトアップした時に下に垂れてくるので、不用意なリフトアップをすると、亀裂が入ったり、エア漏れを起こしたりといったトラブルが起こりがちでした。リフト選びに関してはこの状況が起こらないようにすることが大前提で、ANZENさんが最も期待に応えてくれ、安心してリフトアップできるので選びました。またリフトアップしても床がフラットになるため作業に集中でき効率アップに寄与すると考えました」（佐藤さん）。

4軸のエアサス車には4柱タイプのツインパワーリフトが最適!

■フロアリフトで足回り検査と重整備の高効率化へ

同社では今回、あらゆる整備に最適化するフロアリフトも設置しました。「これからは点検の時代になると考え、そのための作業効率アップとメカニックの負担軽減を重視して設置に踏み切りました。最近のクルマは、メンテナンスの差がエンジンの寿命差に直結します。例えば寿命をのばすためのオイル交換もさらに提案していきますので、フロアリフトは今後かなり重宝すると思います。また、ミッションやクラッチの整備と交換にはフロアリフトが最適です。そのためにフロアリフトの中にミッションリフトを収納しました。その他整備に使う機器をフロアリフトの中に収納し、整備工場内をスッキリ整理させています。また通常フロアリフトの長さは10mですが、今回は12mにしました。同時に2台の作業をできるようにという考えからです。わずか2mの差ですが、この差は実は大きいのです」（佐藤さん）。佐藤さんは、「欧州では車検制度がありません。10年後ぐらいには日本でも車検制度が変化するのでは」と予想し、その分点検制度が重視されると見ています。

高さの調整ができ、メカニックのベストポジションで作業ができるフロアリフト

高橋さんは「以前は3ストールしかなかったので外注への依存度も高かったのですが、新設工場は大幅にストール数も増え、内製化が可能となりました。サービス売上げの向上も命題となっていますので、営業と協力して頑張っていきます」と、決意も新たに語って下さいました。

フロアリフト内部にミッションリフトを収納!工場内がスッキリし作業もスムーズ!

新発売

車種や作業に合わせて使い方自由！
小型から大型まで、1台のフロアリフトで多車種の整備に対応！

2分割

2分割フロアリフト

作業に合わせて自在に対応するフロアリフトが、分割して便利になりました。
小型車から大型車まで、整備する車の横幅に合わせて使用する側を選べるので、1台のフロアリフトで多車種の整備が効率良くできます。テストリフトやピットリフトを組み合わせて使用すれば作業性がグンと向上！お客様の用途に応じたサービス環境をトータルプロデュースします！

新発売

新規制対応！ANZENがおすすめするオパシメーター

オパシメーター

本年度9月より開始されました、ディーゼル車の排出ガス測定におけるオパシメーターの導入にあたり、ANZENがおすすめする2機種をご紹介いたします。

MEXA-600S

- 規制モードに従ったフリーアクセル測定が可能
- プリンター標準装備
- リモートコントロールによる遠隔操作が可能

リモコン

DEX-100

- ハンディー型指示部のためワンマン測定が可能
- パルス発光LED光源採用により適時自動校正が可能
- 強力掃気ファン採用による汚れ防止設計

Call us!

保守点検のおすすめ
ANZEN 製品を長くご活用いただくため、保守点検サービス（有料）のご利用をおすすめします。
お近くの営業マンまでお問い合わせください。

24時間サービス体制
ANZEN製品を「安心」してご利用いただくために、24時間サービス(ボイスワープ)対応をいたしております。営業時間外、および休日におけるサービス電話受付ができます。担当の営業所の電話に連絡していただければできる限り迅速な対応をいたします。

ANZENカスタマーサービス
0120-01-6361
当社の製品およびサービス、その他に関するお問い合わせは左記のフリーダイヤルまでお気軽にどうぞ。
受付時間：月～金（AM9：00～PM5：00）

ANZENホームページ
http://www.anzen.co.jp
ホームページ“ANZEN Web”ではANZENの最新情報を提供しています。

●発行所／安全自動車株式会社　マーケティング部　東京港区芝浦4-16-25　●ANZEN NEWS 37号（2007年10月1日発行）